【 協働実践助成】

「荒浜に行こう！」プロジェクト

一般社団法人MOTTO

一般社団法人あんしん・すまい・くらし支援機構

「荒浜に行こう！プロジェクト」

（１）事業実施団体について　地域協力者との実施体制

MOTTO

障害者福祉事業
・障がい児運動スクール事業
・障がい児通所事業
・重度障がい者就労支援対象シェアオフィス事業
・ユニバーサルイベント事業
荒浜を拠点に、障害者に開かれた体験アクティビティを増やしていきたい。

健常者／障害者を対象にした各種イベントの実施経験（多数）を通したソフト面の強さがあり、当地の地域活動者との接点が多い。当地でのハード面に課題を抱えている。

あんしん・すまい・くらし支援機構

安心な住まい・暮らしの支援事業
・入居から暮らしについての相談、情報支援や仕組み
・相続から空き家の利活用方法などの相談
・大規模災害時の生活物資の供給支援
・安心して遊べる公園や施設等の企画運営
→荒浜地区にて「深沼うみのひろば」の運営
施設設備やコンテンツ等をより有効に活用してもらい、もっと多くの方々に荒浜を楽しんでほしい。

当地に充実したハードとVR体験等の防災コンテンツを持っていて、これらのより有効な活用方法を模索している。イベント運営等のソフト面に課題がある。

地域の協力者（候補：10団体以上）

荒浜のめぐみキッチン（各種イベント）、ファームSURF SIDE荒浜（農園）、East Coast Park（バスケ）、Garden Kitchen 海と風（BBQ・カフェ）、JRフルーツパーク仙台あらはま（フルーツ狩り）、震災遺構荒浜小学校（震災伝承施設）、荒浜海辺の図書館（地域活動団体・ビーチクリーン等）、CDP（地域活動者・スケボーパーク）、宮城県障がい者カヌー協会（カヌー）、海岸公園馬術場

（２）課題の把握

仙台市荒浜は、東日本大震災により集団移転を余儀なくされた土地であり、仙台市が「跡地利活用事業」として「新たな魅力」づくりを、複数の民間事業者や地域活動者と共に進めている地区のひとつです。

荒浜地区では、今年度夏に（震災後初めて）入場制限なしで「深沼海水浴場」を再開することができましたが、震災前の賑わいには遠く及ばず、下記の課題を抱え続けています。

課題１：被災地としての印象が強く、遊興地としての市民認識が低い

課題２：夏（海水浴場）以外の季節に訪れる市民が極端に少ない

課題３：跡地利活用事業者間の協力・連携体制の構築

課題４：「被災地」だからこその「防災・避難」への取組みの強化

潜在的課題

１：「利活用事業者」と「元住民の活動者」間の関係性／協働性が薄い

２：障害者に開かれた体験アクティビティが少ない

（３）事業の目的

先に提示した４つの課題を解決しつつ、

震災で大きな被害を受けた荒浜の「新たな魅力」を創出し、仙台市内外にアピールしていくと共に、日本の数多くの地域に潜在している「未来の災害とその復興」に役立てていただくことを目指します。

　また、先に提示した「潜在的課題１」を、本事業における効果として解決できることを強く望んでおり、元住民の方々やその関係者を、積極的に本事業に参加していただけるように相談・検討を始めています。

「潜在的課題２」で提示した「障害者にも開かれた体験アクティビティ」の提供については、本事業計画の前提目的として積極的に取り組みます。

（４）事業における目標

本事業では、複数の「跡地利活用事業者・地域活動者」との協力体制を構築・連携しながら、下記２種類のアクティビティ・イベントを、合計６日間実施します。

・ベースイベント：貞山運河界隈のアクティビティ（カヌー、サップ、釣り等）
・プラスイベント：荒浜地区の他協力者と企画・実施するアクティビティ

【具体的数値目標】

・各回のイベント参加者数：30名以上（６回で180名以上）
・実施イベントでの連携・協力事業者・団体数：５団体以上
・貞山運河活用等、海水浴以外の当地固有コンテンツの定着化と認知向上
・実施イベントのうち１回は「防災・避難」をテーマに企画・実施 する

（５）事業の具体的な内容（事業スケジュール：計画当初）

事業スケジュール

月	事業実施内容
4 月	イベント企画・調整・準備
5 月	「貞山運河」＋焚き火あそび（協力：荒浜のめぐみキッチン）
6 月	「貞山運河」＋車椅子バスケ（協力：East Coast Park）
7 月	イベント企画・調整・準備
8 月	「貞山運河」＋砂あそビーチ、ユニバーサルビーチ（協力：荒浜のめぐみキッチン）
9 月	イベント企画・調整・準備
10 月	「貞山運河」＋収穫体験と RRQ（協力：ファーム SURF SIDE 荒浜、海と風）
11 月	イベント企画・調整・準備
12 月	「貞山運河」＋楽しく防災と避難（協力：震災遺構荒浜小学校、避難の丘等）
1 月	イベント企画・調整・準備
2 月	「貞山運河」＋いちご狩り（協力：JR フルーツパーク仙台あらはま）
3 月	報告書まとめ

（6-1）令和８年度事業の実施状況

【１：地域事業者・活動者との関係性構築】

まず最初に取り組んだのは、本事業の要でもある、地域事業者・活動者との関係性づくりです。本事業の主旨を説明しながら、一緒に取り組むイベントの素案を説明しつつ、目標を大きく上回る合計10団体さんとのイベント「企画相談」が実現できており、「関係性構築」においては、想定以上の効果となっています。

協力団体：

「荒浜のめぐみキッチン（各種イベント）」「ファームSURF SIDE荒浜（農園）」「荒浜ワイワイガーデン（農園）」、「East Coast Park（バスケ）」、「Garden Kitchen 海と風（BBQ・カフェ）」「CDP（地域活動者：スケートボードパーク）」「海辺の図書館（地域活動者：ビーチクリーン等）」「海岸公園馬術場」「宮城県障がい者カヌー協会」

【２：事業開始後の調整・変更】

上記の「企画相談」「関係性構築」作業は、慎重さと丁寧さが必要でした。そのため、それなりの時間を要した関係で、イベントの開催を「隔月の６回／年」から「9月以降の６回／年」に変更いたしました。（夏の海水浴期間以外のアクティビティの創出と実施が、本事業の目標でもあるため、秋以降に実施することにいたしました。）

ベースイベントで想定していた「釣り」「サップ体験」は、季節（冬季）や天候を考慮し、「ふれあい引き馬体験」「荒浜の自然素材工作WS」に変更いたしました。

（6-2）令和８年度事業の実施状況　変更後のイベントスケジュール

実施日	タイムテーブル	ベースイベント	プラスイベント	プラスイベントの概要
#1　調整中 9月21日（月祝） 雨天のため延期 →11/23（月祝）	10:00～12:00　ふれあい引き馬体験 14:00～16:00　車椅子バスケ	【ふれあい引き馬体験】 海岸公園馬術場 MOTTO／ララカフェ	【車椅子バスケット】 East Coast Park 石巻総合型クラブnimo MOTTO／ララカフェ	健常者と障がい者の両方を対象にした車椅子バスケの体験を実施。通常のゴールと合わせて、低いゴールも準備・設置して体験をしてもらい、ミニゲームもやる想定。
#2 10月10日（土）	10:30～12:30　水耕栽培ハウスで収穫・調理体験 14:00～16:00　カヌー	【カヌー】干潮9:07／満潮15:04 宮城県障がい者カヌー協会 ファームSURF SIDE 荒浜 荒浜ワイワイガーデン	【収穫・調理体験】 めぐみキッチン MOTTO／ララカフェ	・水耕栽培ハウスにて、葉物野菜の収穫体験 ・収穫葉物野菜で、シャカシャカサラダ＋ホットドッグづくり ・焚き火体験：野菜スープ調理＋炙りウインナー
#3 11月3日（火祝）	10:00～12:00　カヌー 13:00～15:00　音楽イベント	【カヌー】干潮4:03／満潮11:59 宮城県障がい者カヌー協会 ファームSURF SIDE 荒浜 荒浜ワイワイガーデン	【音楽イベント】 ファームSURF SIDE 荒浜 MOTTO／ララカフェ	「ファームSURF SIDE 荒浜」敷地内に設置されたばかりの屋外ステージを活用した、音楽イベントを実施する。
#4　調整中 2月11日（木祝）	10:30～12:30　避難訓練・炊出し体験 14:00～16:00　荒浜の自然素材工作WS	【自然素材の工作WS】 めぐみキッチン／海辺の図書館 MOTTO／ララカフェ	【避難訓練・炊出し体験】 海と風 国境なき劇団 MOTTO／ララカフェ	「海と風」に滞在中に地震被災をした想定で、初期避難から避難の丘までの徒歩避難、さらに炊出しまでの避難訓練を実施する。従来の避難訓練の要素に、演劇の要素を取り入れ、かつ健常者と障がい者が一緒に参加することで、よりリアルに自分ごととして実感できるような体験を検討しています。
#5　調整中 2月23日（火祝）	10:00～12:00　ふれあい引き馬体験 13:00～15:00　車椅子スタンプラリー	【ふれあい乗馬】 海岸公園馬術場 MOTTO／ララカフェ	【車椅子スタンプラリー】 JRフルーツパークあらはま MOTTO／ララカフェ	「JRフルーツパークあらはま」の管理用通路を利用して、健常者／障がい者の両方を対象とした車椅子試乗体験を、敷地内の果樹園を巡るスタンプラリー方式で実施する企画を検討中。
#6　調整中 3月22日（月祝）	10:00～12:00　荒浜の自然素材工作WS 13:00～15:00　ヨコノリ遊び	【自然素材の工作WS】 めぐみキッチン／海辺の図書館 MOTTO／ララカフェ	【ヨコノリ遊び】（マウンテンボード） スケートパークCDP MOTTO／ララカフェ	一般的なスケートボードよりも大きくて安定感のある「マウンテンボード」を用いて、かつ講師が安全を確保しながら、スケートボードの面白さを、健常者と障がい者の隔てなく、安全に体験できる企画を検討中。

（6-3）令和８年度事業の実施状況　実施イベント

【10/10実施イベント】

水耕栽培野菜の収穫・調理体験

実施団体：あんしん・すまい・くらし＋荒浜のめぐみキッチン

貞山運河カヌー体験

実施団体：MOTTO＋ファームSURF SIDE 荒浜＋宮城県障がい者カヌー協会










（６-４）令和８年度事業の実施状況　番外編

【海ごみゼロ SUMMER】

実施団体：MOTTO＋海辺の図書館
実施日：2026年8月9日（日）
実施内容：１.深沼海岸でのビーチクリーン
　　２.貞山運河でのカヌー体験・水上清掃
　　３.灯籠絵付け体験
本事業の枠組みの外ではあるが、地域活動団体の海辺の図書館さんと初めての共催で、上記取組みを実施。荒浜地区内での活動者間の関係性構築の足掛かりにもなった。







（6-5）令和８年度事業の実施状況　見えてきた成果と課題

本事業の実施によって得られる成果の大きさを実感しつつも、同時に課題も見えてきている。

【課題】

１：多くのアクティビティが天候の影響を受けやすい。
→今年は夏季「海水浴シーズン」ですら、天候不良による集客不足が大きな問題になった。
→雨天時にも実施できるアクティビティ創出の必要性を強く感じた。

２：「連携・関係性」がまだまだ足りない。
→今年度事業により、我々２団体は、多くの地域活動者との連携・関係性を芽生えさせた。
今後はこれをより強化し／より広範囲（他の沿岸地域にも）に広げていきたい。同時に、
我々以外との、地域活動者間の連携・関係性の構築（多層化）もまた今後の課題である。

３：その他